

# 神奈川県微生物検査情報

<http://www.eiken.pref.kanagawa.jp/>  
神奈川県衛生研究所

## 第288号

平成28年12月20日発行  
病原体検出は平成28年10月分

表1 病原体検出状況(保健所等別)－平成28年10月

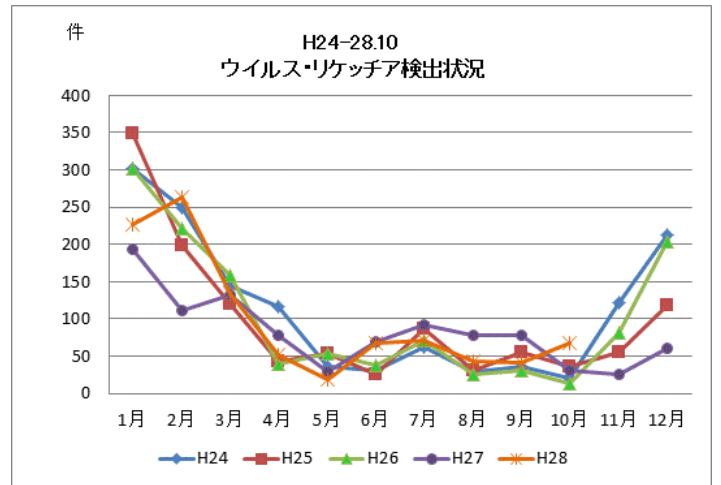
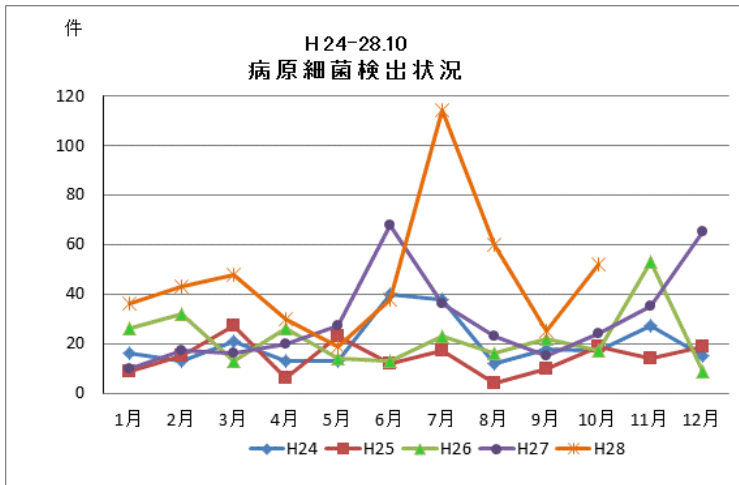
	感染症および食中毒に伴う行政検査並びに依頼検査										病原体定點				合 計	
	平塚保健福祉事務所 秦野センター	鎌倉保健福祉事務所	鎌倉保健福祉事務所 二崎センター	小田原保健福祉事務所	小田原保健福祉事務所 足柄上センター	茅ヶ崎保健福祉事務所	厚木保健福祉事務所	厚木保健福祉事務所 大和センター	横須賀市保健所	藤沢市保健所	計	小児科	インフルエンザ	眼科		基幹
病原細菌	腸管出血性大腸菌(EHEC)	7				3			3	13						13
	その他の大腸菌※										2					2
	サルモネラ 013群							1		1						1
	カンピロバクター ジェジュニ		1					2	1	4	1					5
	カンピロバクター コリ		1							1						1
	黄色ブドウ球菌							1		1						1
	ウエルシュ菌		3				2	1	3	4	13					13
	A群溶血レンサ球菌										4					4
	エンテロコッカス フェシェイム								1	1						1
	レジオネラ属菌				1					1						1
	レジオネラ ニューモフィラ								1	1						1
	クラミジア トラコマティス								1	1						1
	マイコプラズマ ニューモニエ										8					8
計	7	5	1	5	1	7	3	8	37	15					52	
ウイルス・リケッチア	インフルエンザ AH3		4		3			1	8	5	1				14	
	インフルエンザ B									1					1	
	R S									2					2	
	コクサッキー A2									2					2	
	コクサッキー A6									14					14	
	コクサッキー A10									1					1	
	コクサッキー A16									1					1	
	コクサッキー B3													3	3	
	コクサッキー B5													4	4	
	エコー 3								2	2					2	
	エコー 6								3	3					3	
	エコー 9									1					1	
	パレコ 3													4	4	
	ライノ								2	2					2	
	ムンプス									1					1	
	アデノ 1									1					1	
	アデノ 3									1					1	
	アデノ 41									1					1	
	ノロ								8	8	1				9	
デング														1(1)	1(1)	
計		4		3				16	23	32	1		11	1(1)	68(1)	
合計	7	9	1	8	1	7	3	24	60	47	1		11	1(1)	120(1)	

※：EHEC(VTEC)・ETEC・EIEC・EPEC・EAaggEC以外の大腸菌(病原性不明なもの)

海外渡航者数は(内数)として記載

<検出状況>

○ 10月の病原体検出数は合計120件、細菌は52件、ウイルス・リケッチアは68件であった。



- 病原体定点等の医療機関からの検査では、小児科定点から細菌が15件、ウイルスが32件、インフルエンザ定点からウイルスが1件、基幹定点からウイルスが11件、その他の医療機関からウイルスが1件検出された。
- 保健所管内別の病原体検出状況は表1のとおりである。

表2 病原細菌検出状況(臨床診断別)—平成 28 年 10 月

	感 染 症														食 中 苦 情 含 む 様	依 保 菌 類 者 検 査 計	合 計	
	コ レ ラ	細 菌 性 赤 痢	腸 チ フ ス	パ ラ チ フ ス	腸 管 出 血 性 大 腸 菌 感 染 症	A 群 溶 血 性 レ ン サ 球 菌 咽 頭 炎	感 染 性 胃 腸 炎	マ イ コ プ ラ ズ マ 肺 炎	百 日 咳	細 菌 性 髄 膜 炎	菌 血 症	ペ ニ シ リン 耐 性 肺 炎 球 菌 感 染 症	レ ジ オ ネ ラ 症	淋 菌 感 染 症				そ の 他
検 査 検 体 数					55	7	3	9	2				5		1	34	1780	1896
腸管出血性大腸菌(EHEC)					13													13
その他の大腸菌※							2											2
サルモネラ 013群																1		1
カンピロバクター ジェジュニ							1									4		5
カンピロバクター コリ																1		1
黄色ブドウ球菌																1		1
ウエルシュ菌																13		13
A群溶血レンサ球菌						4												4
エンテロコッカス フェシウム															1			1
レジオネラ属菌													1					
レジオネラ ニューモフィラ												1						1
マイコプラズマ ニューモニエ								8										8
クラミジア トラコマティス																	1	1
計					13	4	3	8					2		1	20	1	52

※： EHEC(VTEC)・EPEC・EIEC・EPEC・EAaggEC以外の大腸菌（病原性不明なもの）

- 腸管出血性大腸菌感染症届出関連に伴う検査で、55 検体中 10 検体から腸管出血性大腸菌 O157 (VT2+) が、3 検体から腸管出血性大腸菌 O26 (VT1+) が検出された。
- A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎患者 7 検体中 4 検体から、A 群溶血レンサ球菌が分離培養によって検出された。血清型は、T3 が 2 検体、T1 が 1 検体、UT が 1 検体であった。
- 感染性胃腸炎患者 3 検体中 2 検体からその他の大腸菌（血清型 OUT astA）が検出された。その 2 検体のうち 1 検体からは、カンピロバクター ジェジュニも同時に検出された。
- マイコプラズマ肺炎患者 9 検体中 8 検体からマイコプラズマ ニューモニエが PCR と分離培養によって検出された。
- レジオネラ症患者 5 検体中 1 検体からレジオネラ ニューモフィラ（血清群 1）が培養によって検出された。1 検体からレジオネラ属菌が、LAMP 法によって検出された。
- その他の感染症では、バンコマイシン耐性腸球菌感染症患者 1 検体中 1 検体からバンコマイシン耐性エンテロコッカス フェシウム（遺伝子型 VanA）が検出された。
- 食中毒様事例（有症苦情含む）34 検体を検査したところ 20 検体から食中毒菌が検出された。検出菌の内訳は、サルモネラ O13 群が 1 検体、カンピロバクター ジェジュニが 4 検体、カンピロバクター コリが 1 検体、黄色ブドウ球菌が 1 検体、ウエルシュ菌が 13 検体であった。
- 依頼検査では、1780 検体中 1 検体からクラミジア トラコマティスが検出された。

表3 病原細菌検出状況(月別)—平成27年10月～平成28年10月

	10月	11月	12月	平成27年累計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	平成28年累計
腸管出血性大腸菌(EHEC)				20		2		2		4	4	6	5	13	36
毒素原性大腸菌(ETEC)												2			2
腸管病原性大腸菌(EPEC)						2				1		1			4
腸管凝集性大腸菌(EAggEC)				2											
その他の大腸菌 ※		4	7	26	1	1	2	1		1	3	5	3	2	19
サルモネラ O4群				7		1	1	1							3
サルモネラ O7群	1			7							1				1
サルモネラ O8群				1			1	1	1						3
サルモネラ O13群														1	1
腸炎ビブリオ												1			1
エロモナス ハイドロフィラ				1						1					1
カンピロバクター ジェジュニ	1		1	25	4		5	7	2	9	2	25	5	5	64
カンピロバクター コリ				2					1					1	2
黄色ブドウ球菌				16	1	1				1	6	1		1	11
ウエルシュ菌				11			1				2			13	16
セレウス菌				2											
A群溶血レンサ球菌	4	8	18	125	7	8	12	12	10	9	6	6	2	4	76
エンテロкокカス フェシウム		12	30	46	17	27	22	2		2	2	5	1	1	79
百日咳菌					1										1
淋菌										1					1
クラミジア トラコマティス									1	1	2	1		1	6
肺炎球菌						1			3						4
マイコプラズマ ニューモニエ	17	9	7	49	4		1	4		7	8	5	8	8	45
レジオネラ属菌														1	1
レジオネラ ニューモフィラ	1	2	2	16	1		3		1			2	1	1	9
その他の細菌									1	1	78				80
合計	24	35	65	356	36	43	48	30	20	38	114	60	25	52	466

※:その他の大腸菌: EHEC(VTEC)・ETEC・EIEC・EPEC・EAggEC以外の大腸菌(病原性不明なもの)



表4 ウイルス・リケッチア検出状況(臨床診断別)―平成28年10月

検査検体数	ウエストナイル熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	急性脳炎	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	感染性胃腸炎	手足口病	風しん	ヘルパンギーナ	麻疹	流行性耳下腺炎	インフルエンザ様	流行性角結膜炎	無菌性髄膜炎	その他の	（食中毒を含む）	合計
検査検体数			5		2		2	14	20		1	17	3	18		20	11	20	133
インフルエンザ AH3														14					14
インフルエンザ B														1					1
R S																		2	2
コクサッキー A2									1		1								2
コクサッキー A6									14										14
コクサッキー A10									1										1
コクサッキー A16									1										1
コクサッキー B3																3			3
コクサッキー B5																4			4
エコー 3																2			2
エコー 6																3			3
エコー 9									1										1
パレコ 3																		4	4
ライノ																2			2
ムンプス													1						1
アデノ 1							1												1
アデノ 3							1												1
アデノ 41								1											1
ノロ									9										9
デング			1(1)																1(1)
計			1(1)				2	10	18		1		1	15	14	6			68(1)

海外渡航者数は（内数）として記載

- デング熱疑い患者5検体中1例から、デング熱が検出された。海外渡航歴（インドネシア）があり、渡航先で感染したと推定された。
- 咽頭結膜熱患者2例から、ウイルスが検出された。その内訳は、アデノウイルス1型が1例、アデノウイルス3型が1例であった。
- 感染性胃腸炎患者14例中10例から下痢症の原因となるウイルスが検出された。その内訳は、ノロウイルスが9例、アデノウイルス41型が1例であった。
- 手足口病患者20例中18例からウイルスが検出された。その内訳は、コクサッキーウイルスA2型が1例、コクサッキーウイルスA6型が14例、コクサッキーウイルスA10型が1例、コクサッキーウイルスA16型が1例、エコーウイルス9型が1例であった。
- ヘルパンギーナ患者1例からコクサッキーウイルスA2型が検出された。
- 流行性耳下腺炎患者3例中1例からムンプスウイルスが検出された。
- インフルエンザ様患者8例中8例からインフルエンザウイルスが検出された。その内訳は、インフルエンザウイルスAH3型7例、インフルエンザB型1例であった。また、集団かぜ患者2集団10例中7例から、インフルエンザウイルスAH3型が検出された。
- 無菌性髄膜炎患者7例（20検体）中5例（14検体）からウイルスが検出された。その内訳は、1例目は髄液、咽頭ぬぐい液および便からコクサッキーウイルスB3型、2例目は髄液、咽頭ぬぐい液、便および尿からコクサッキーウイルスB5型、3例目は髄液と咽頭ぬぐい液からエコーウイルス3型、4例目は髄液、咽頭ぬぐい液および便からエコーウイルス6型、5例目は、咽頭ぬぐい液および便からライノウイルスであった。
- その他の感染症9例のうち、流行性筋痛症患者3例（8検体）中3例（4検体）からヒトパレコウイルス3型が検出された。

表5 ウイルス・リケッチア検出状況(月別)-平成27年10月～平成28年10月

	10月	11月	12月	平成27年累計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	平成28年累計
インフルエンザ AH1pdm09	6	3	12	27	121	113	26	1							261
インフルエンザ AH3		1	3	205	15	16	11		3				5	14	64
インフルエンザ B	2		1	61	40	62	46	12	2	1				1	164
R S	1	1	3	6											2
コクサッキー A2	1			3							4	6		2	12
コクサッキー A4				1						4	21	3	1		29
コクサッキー A5	1			2							3	2			5
コクサッキー A6	4	3	1	67			1				1	4	6	14	26
コクサッキー A9				25											
コクサッキー A10	3			10						1	13	6	3	1	24
コクサッキー A14				2											
コクサッキー A16	4			66							1	1	2	1	5
コクサッキー B3		1		2							1	2		3	6
コクサッキー B4				1											
コクサッキー B5			1	1						3	8	1	1	4	17
エコー 3															2
エコー 6													1	3	4
エコー 9														1	1
エコー 11												3			3
エコー 16				2											
エコー 18				2							3	1			4
エンテロ 68	1			3											
エンテロ 71								1							1
A型肝炎								1 (1)							1 (1)
パレコ 1				1											
パレコ 3										8	6	3		4	21
パレコ 6	2	1		3											
ライノ	2			9			2	3		2	2	1	1	2	13
ムンプス				3		2	1		2	2	1	1	5	1	15
麻疹				11									8		8
アデノ 1				5	1			4		1	1	1		1	9
アデノ 2	1		1	18		1	1	5	2	3	1				13
アデノ 3		2	3	53	1	1		1	1	2	1	2		1	10
アデノ 4				4		2			3			2			7
アデノ 5			1	2	1	1			1		1				4
アデノ 19				1							1				1
アデノ 37				2								1			1
アデノ 41										1			1	1	3
アデノ 46													1		1
アデノ 54											2	1	1		4
アデノ(型未決定)				1											
単純ヘルペス 1				3											
水痘・帯状疱疹			1	2		1									1
サイトメガロ				1				2				1			3
E B				2	1										1
ヒトヘルペス 6				6		1		1				1			3
ヒトヘルペス 7	3	1		8	1		1			1					3
バルボ B19				1											
ロ タ			1	1				2							2
ノ ロ	4	10	29	326	45	63	45	19	4	37	1		4	9	227
サ ボ			3	13						1					1
アストロ				5	1										1
デング				9 (9)					1 (1)				1 (1)	1 (1)	3 (3)
オリエンチア ツツガムシ		2		2											
合計	35	25	60	978 (9)	227	263	134	52 (1)	19 (1)	67	72	43	41 (1)	68 (1)	986 (4)

海外渡航者数は(内数)として記載





表6 食品・環境由来の病原細菌検出状況—平成 28 年 10 月

検査検体数	病原細菌検出数および検査検体数													
	食 品						環 境							
	10月			1~10月累計			10月				1~10月累計			
	食中毒等 収去検査	その他	食中毒等 収去検査	その他	食中毒等 収去検査	その他	海水※	浴槽水等	食中毒等	その他	海水※	浴槽水等	食中毒等	その他
検査検体数	9	124	183	86	1063	337		43	21	20	68	170	144	209
腸管出血性大腸菌(EHEC)	3			3										
その他の大腸菌 ※2					1									4
サルモネラ 04群					1									
腸炎ビブリオ					1									
カンピロバクター ジェジュニ	3			3										
黄色ブドウ球菌					3	7								
レジオネラ属菌								1				1		
レジオネラ ニューモフィラ 1群								5				7		
レジオネラ ニューモフィラ 3群								1				4		
レジオネラ ニューモフィラ 4群								4				4		
レジオネラ ニューモフィラ 5群												2		
レジオネラ ニューモフィラ 6群												6		
レジオネラ ニューモフィラ 7群								1				1		
レジオネラ ニューモフィラ 8群														1
レジオネラ ニューモフィラ 9群												1		
検出菌計	6			6	6	7		12				26		5

※：河川水を含む。

※2： EHEC(VTEC)・ETEC・EIEC・EPEC・EAggEC以外の大腸菌（病原性不明なもの）

- 食中毒様事例では、食品（冷凍メンチ）6検体中3検体から腸管出血性大腸菌 O157（VT2+）3検体が、食品（鶏肉）3検体中3検体からカンピロバクター ジェジュニが検出された。
- 環境由来では、浴槽水10検体からレジオネラが検出された。血清型は、レジオネラ属菌が1検体、1群が3検体、3群が1検体、4群が4検体、7群が1検体であった。  
レジオネラ症患者発生事例より、浴槽水2検体からレジオネラ ニューモフィラ 1群が培養によって検出された。